

市長から

現在国においては、「子育て安心プラン」を踏まえた保育の受け皿整備などの「人づくり革命」やインバウンドの取り組みの強化による観光の基幹産業化など、「楽しい国日本」の実現に向け、自治体やDMO（観光地域づくりの舵取り役となる法人）との連携を進めていくこととします。

瀬戸内市においても、財政健全化を進めると同時に、子育て支援、教育環境の整備による人づくり、また本市特有の資源を生かした新たな取り組みをさらに進めていく必要があります。

平成30年度予算においては、児童保育施設整備や小・中学校および幼稚園の整備など、子育て、教育の環境整備の充実を図るとともに、JＲ駅前整備など、瀬戸内市の魅力の発信のためのインフラ整備や、インバウンドコーデイナーを活用した外国人旅行者の誘客を進めることにより、地域再生・経済の活性化を図ることとしています。

平成29年度中のNPOの活動としては、巨久光明園内の旧入所者自治会館内に置く事務所の環境整備などと並行して、療養所入所者自治会が実施する学識経験者による世界遺産登録の勉強会などに参加する予定です。

平成30年度は、錦海塩田跡地の発電所が完成し、いよいよ試験運転が始まる一方で、「特定非営利活動法人ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会」によるハンセン病療養所の世界遺産登録推進活動が始まるなど、これまで積み重ねてきた苦勞が実ると同時に、新たな課題に挑戦する年でもあります。

引き続き、市民の皆さんのご要望やご意見を真摯に受け止め、市民の皆さんが幸せを

実感できるまちづくりを進めていきます。

市営バスの利用促進

昨年11月に運行を開始した市営バス3路線沿線にお住まいの人の利用状況やご意見を把握し、今後の改善の資料とするため、アンケート調査を実施しました。

調査票は、市営バスの認知度や利用状況、改善点などをご回答いただく内容となっております。高齢者や運転免許を持たない人など、いわゆる交通



矢野ヶ浜（牛窓町鹿忍）沿いを走る市営バス

弱者に優先的に回答していた

また、市営バスの利用促進策について市職員からアイデアや意見を聞く機会として、「市営バス・ワーキンググループ」を設けました。

今回のアンケート調査やワーキンググループの検討で得られたデータや意見を基に、市営バス事業の運行改善および利用促進策の検討に取り組むこととしています。

平成30年度当初予算

当初予算編成にあたっては、財政健全化を基本とし、持続可能で自立性の高い財政運営基盤の確立を図りつつ、瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略に基づく「地方創生事業」や、錦海塩田跡地の貸付収入を積み立てた太陽のまち基金

を活用した「まちづくり事業」などを実施しています。

さらに、ふるさと納税を積み立てた応援基金を活用するため、「応援基金活用事業」枠を設け、各所属から提案のあった事業のうち、必要と認められた事業について基金積立金を充当し、限られた財源を効果的に配分したメリハリのあ

る予算編成を目指しました。

これは、JＲ3駅の駅前等整備事業、学校施設長寿化計画に基づく小・中学校および幼稚園施設などの整備事業、保育園施設整備事業、児童保育施設整備事業などの事業費を計上したことが主な要因です。

また、長船東保育園については、調乳室の改修工事が完了し、新たに0歳児の受け入れができるようになりました。

保育施設の拡張・改修

福田保育園の園舎拡張については、昨年10月から工事を開始し、1月末現在75%程度の進捗で順調に進んでいます。3月末までに施設の完成、備品などの搬入を完了し、4月からの受け入れ開始に向け、準備を進めています。

この施設の整備により、4月からは、最大23人の0歳児、1歳児を新たに受け入れることができる施設となり、入所を希望する人に柔軟な対応が可能になると考えています。



拡張された福田保育園の園舎（右側が既存の園舎）

JＲ駅前等整備事業の進捗状況

市内のJＲ3駅の駅前等整備事業については、JＲ西日本や地権者との用地交渉などの結果も踏まえて、事業を進める上で必要な用地を再検討したことなどから、JＲ巨久駅については一部計画の変更が必要となり、平成29年度に業務委託をしている詳細設計の完成は、当初の予定より少し時間がかかる見込みとなっています。

今後、JＲ西日本との協議や地元調整を進め、当初の整備計画に沿って、公衆用トイレ、駅前ロータリー、駐輪場の整備、歩車道分離など、広く市民の理解が得られる効果的な駅前広場となるよう、平成30年度の秋ごろまでに工事に着手し、平成31年度末の完成を目指します。

錦海塩田跡地活用事業の進捗状況

太陽のまちプロジェクトとして進めてきた、瀬戸内Kirei太陽光発電所の建設事業については、市民の皆さんのご理解とご協力のもと、事業者による設置工事が順調に進んだ結果、当初の予定から早まり、2月末には完了する予定です。

このため、当初の予定では、平成30年6月ごろに発電所の設置工事を完了し、その後半年程度、試験稼働や検査を実施し、平成31年の春ごろから運転開始の予定となっていました。今のところ当初の予定より3カ月から6カ月



錦海塩田跡地の太陽光発電所

程度、前倒しのスケジュールとなり、早ければ今年の秋ごろから本格稼働の予定です。

市民病院の利用状況

今年1月末までの患者数は、入院が2万9,393人で前年度同期と比較して5、472人の増加、1日平均96・1人で病床稼働率は87・3%となりました。

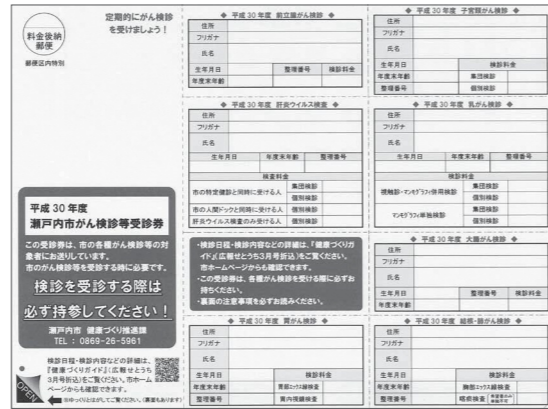
また、外来が4万887人で前年度同期と比較して3、268人の増加、1日平均200・4人となりました。

このような状況の中、瀬戸内市民病院新改革プラン実現に向けて、地域医療構想を踏まえながら、地域に必要な医療提供体制の確保と安定した経営のもとで医療の質の向上を図り、市民に信頼される病院とすべく改革を進めています。

受診券を持って がん検診に行こう！

平成30年度から、がん検診の対象となる人全員に、4月上旬に受診券を郵送します。がん検診を受ける際に必ずお持ちください（受診券がないと、受診に時間がかかる場合や、検診を受けられないことがあります）。

検診などの内容や集団検診の日程、個別検診実施医療機関など、詳しくは『健康づくりガイド』（広報せとうち3月号折り込み）をご覧ください。



△受診券（見本）

問診票について

《集団検診》

検診当日に問診票を受け取って記入してください。

事前に記入したい人は、右表の場所で期間内に入手してください。

《個別検診》

検診当日に受診する医療機関から問診票を受け取って記入してください。

「がん集団検診問診票」と「大腸がん検診検査容器」の設置場所・期間

設置場所	設置期間
瀬戸市内内の郵便局 ※日出・木尾簡易郵便局を除く	3月26日（月）～7月6日（金）
各集団検診会場、ゆめトピア長船、市役所（市民課）、牛窓支所、裳掛出張所	3月26日（月）～10月17日（水）
中央公民館（邑久）、長船町公民館、牛窓町公民館 ※分館を除く	3月26日（月）～10月17日（水）

症状がないから大丈夫



がんは他人ごとではありません。誰もがかかる可能性のある身近な病気です。がんは死因の第1位となっており、2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっています。

がん？ 自分には関係ない



早期のがんは自覚症状がほとんどありません。症状がなくても定期的ながん検診を受けましょう。

仕事をしていて時間がない



がんは不治の病ではありません。早く見つけて治療すれば、高い確率で治すことができます。



市のがん検診は、休日や平日夜間に実施する検診もあります。個別検診では、都合のつくときに検診を受けられます。土日や夜間に受診できる医療機関もあります。

検診を受けてがんが見つかったら怖い

平成29年中の火災救急概況

平成29年中の火災件数は12件で、前年より9件減少しています。内訳は、建物6件、車両1件、その他の火災5件で、2人が負傷しています。

建物火災のうち、3件が工場などの防火対象物で、大規模火災につながる危険性もあることから、予防検査や警防隊による警防調査を継続実施していきます。

一方、救急は1,728件の出動により、1,676人を搬送し、前年より168件、168人の増加となり、過去最高となりました。65歳以上の高齢者の搬送率は68・5%



住宅用火災警報器の設置について説明する女性消防団員（写真右）

教育長から

学校教育においては、学力向上、生徒指導、道徳や小学校における外国語の教科化をはじめとした教育活動の充実を図るため、各学校における授業改善や教員の指導力向上に取り組む必要があります。また、学校における働き方改革については、各校内の業務改善、部活動の適正化などに取り組んできましたが、

日本遺産認定に向けて 関市と共同申請

日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを日本遺産として文化庁が認定するものです。全国屈指の日本刀の生産地として知られている瀬戸内市と岐阜県関市は、500年以上にわたり日本刀の制作技術が継承されています。このたび、平成30年度の日本遺産認定に向けて岐阜県関市との共同により『鋼と炎の芸術「日本刀」の聖地〜関・

邑久中学校大規模改造工事の進捗状況

平成29年度に着手した北棟の大規模改造工事は、今年5月の完成に向けて現在、計画どおり順調に進んでいます。夏季休業期間中には仮設校舎から引越しを行い、2学期から本校舎での授業を実施することとしています。

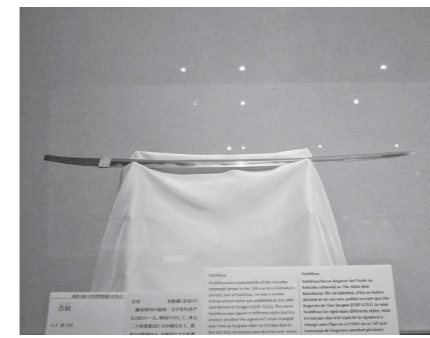
邑久学校給食調理場の業務委託の進捗状況

邑久学校給食調理場の調理・配送・洗浄業務については、平成30年4月から業務委託を行うこととしており、応募があった事業者について、プロポーザルによる審査を実施した上で、平成29年12月28日に委託契約を締結し、平成30年度に向けて準備を進めています。

備前長船刀剣博物館で テーマ展「甦った赤羽刀」を開催中

博物館では、2月18日から4月22日まで、テーマ展「甦った赤羽刀」を開催中です。本博物館が所蔵している赤羽刀は107口あり、そのうち57口は備前の銘のある日本刀です。

このテーマ展では、再び輝きを取り戻した鎌倉時代中期の福岡一文字派である吉房の太刀や、戦国時代を代表する備前長船勝光、戦国時代から江戸時代に繁栄した祐定の刀など、備前刀を中心とした赤羽刀約40口を展示しています。



太刀 銘 吉房